

白州保育園・西部こども園施設整備について

1 白州保育園・西部こども園施設整備検討委員会において意見集約された内容

●建設場所・工法

- ① 土砂災害区域に指定されていない場所を基本とし、安全性、避難や送迎をする際学校に近いことを設置場所の要件とすることから、現在の位置を希望する。
- ② 現施設は老朽化が激しく、大規模改修を行う際は修繕箇所が多く、改修規模が大きくなることが想定される。建物の築年数や安全性を考慮し、建て替えを希望する。
- ③ 現在の位置に建て替えを行う際は、建設期間中の保育環境を整えるために、仮設園舎ではなく本園舎の建て替えができるよう、周辺土地を買収し、敷地の確保を希望する。
- ④ その他検討課題について
 - ・現在の園舎には廊下部分（テラス）がなく、保育をするうえで不便であるため、解消を希望する。
 - ・プールの建設や駐車場の確保を希望する。

<施設概要>

- 園舎 概ね800～1000㎡（定員75名程度）
- 構造 鉄骨造 平屋建て
- 園庭（遊具含む） 概ね1000～1200㎡
- 外構（駐車場） 概ね800㎡（30～40台を想定）
- プール 鉄骨造 平屋建て、約150㎡
- その他 園の雰囲気づくりや、保育を行ううえでの安全性や利便性について、従事している保育士等の意見を取り入れる。

2 「第3次北杜市総合計画」、「新・行政改革大綱」、「北杜市保育園充実プラン」について

本市では新たな時代に対応できる新しい行政指針として令和4年3月に「第3次北杜市総合計画」、「新・行政改革大綱」の策定などを行いました。これらの中では、保育施設についても触れられています。

●「第3次北杜市総合計画」（一部抜粋）

- ・保育サービスの質の維持、向上と行財政の健全化を両立するため、市立保育園の適正規模・適正配置に伴う再編整備を進めます。また、民間活力の導入、民営化等を検討し、運営方針を示します。

●「新・行政改革大綱」（一部抜粋）

○市立保育園の現状と課題

- ・市立保育園は14園（うち分園3）あり、公立保育園の施設数で見ると県内市町村で最も多くなっている。
- ・築30年以上の施設が7園あり、それらを維持し続けた場合、老朽化による施設改修費の更なる増加が見込まれる。

○基本方針

- ・保育園の適正規模、適正配置については、地域の子どもの数や各保育園の定員数、保育施設・設備、保育士配置も考慮したなかで統合・再編を進める。
- ・将来的には近隣3市（韮崎市、甲斐市、南アルプス市）の公立保育園利用水準88.4%と同程度の利用水準を目指し、8～10施設での統合・再編を進める。
- ・旧町村地域に複数の市立保育園が設置されている地域などについては、先行して検討する。

●「北杜市保育園充実プラン」（一部抜粋）

- ・保育園は、働く保護者の支援に必要な施設であり、きめ細やかな保育が必要なことから、入園人数にこだわらず、地域の実情やニーズ、小学校の配置等に十分配慮しつつ、慎重に検討を行い、分園化や保育園の統廃合等必要な措置を講じる。
- ・分園化又は統廃合の検討を行う場合は、児童数の見通しを踏まえ、庁内検討会を設け検討することとする。

3 白州保育園・西部こども園の整備方針について

「第3次北杜市総合計画」及び「新・行政改革大綱」、「北杜市保育園充実プラン」、さらには「北杜市立保育園整備計画」を踏まえ、白州保育園・西部こども園施設整備検討委員会で提言いただいた内容を検討した結果、白州保育園・西部こども園の整備方針は次のとおりとする。

●現在の園舎を、大規模改修する。

白州町地域内で今後も保育サービスを継続するために、財政的な負担を軽減しつつ施設を長期間に渡って使用するための方策として、現在の園舎を大規模改修することとします。

- ① 質の高い保育の確保、最適な保育環境の整備【第3次北杜市総合計画】
- ② 地域の実情やニーズ、小学校配置に十分配慮し、必要な措置を講じる。
【北杜市保育園充実プラン】

4 整備計画（スケジュール案）について

年度	
<見込み> 令和4年度 ~ 令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・整備方針の決定 ・設計（大規模改修、屋内プール） ・大規模改修施工 ・屋内プール建設工事 ・完成、引っ越し

※スケジュールは現在の予定であり、状況により変更することがあります。

5 仮設園舎について

白州保育園・西部こども園の大規模改修を行うにあたり、仮設園舎が必要となることが想定されるが、費用面や工期面から、現在使用していない園舎（旧小淵沢西保育園）の活用を検討しており、委員の皆様の意見を伺いたい。